

学会第3回常任理事会報告

日 時 平成25年10月30日（水）午後2時～同4時
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 住友雅人
<副 会 長> 松村英雄、今井 裕
<総務理事> 井上 孝
<常任理事> 高橋秀直、中島信也、櫻井 薫、和泉雄一、
栗田賢一、神原正樹、山崎要一、永田俊彦、
森戸光彦、渡邊文彦

欠席者 <常任理事> 大浦 清、俣木志朗

[議長 井上総務理事]

1. 開 会

松村副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長より、挨拶。

3. 報 告

(1) 一般会務報告

井上総務理事より、次の資料に基づき報告が行われた。

- 一般会務報告（平成25年9月4日～同10月29日）
- 学会第2回学術講演委員会報告（平成25年9月19日開催）
- 学会第1回歯科医療技術革新推進協議会（平成25年9月24日開催）
- 学会第1回学会のあり方検討協議会（平成25年10月1日開催）

- 学会第2回理事会報告（平成25年7月31日開催）
- 学会第2回常任理事会報告（平成25年9月4日開催）
- ▶理事・評議員・学術研究委員会委員の交替について（日本歯科麻酔学会）
- ▶専門・認定分科会への情報提供

(2) 会計現況報告

高橋常任理事より、平成25年度（9月）現在の学会会計収支計算書に基づき報告が行われた。

(3) 会長報告

住友会長より、日歯第6回理事会（9月26日開催）資料から以下を抜粋して報告が行われた。

- 死因究明等推進計画検討会（第11回）資料
- 日本慢性疾患重症化予防研究会シンポジウム・講演会プログラム
- 第21回日本慢性期医療学会・第3回アジア慢性期医療学会ご案内
- 「医療IT化に関するシンポジウムの開催について」（案）

(4) その他

- ▶一般社団法人 日本歯学系学会協議会 第7回シンポジウム

「学会間の連携—医科関連学会との連携の効果—」

住友会長より、机上に配布されたプログラムについて、今後、日本歯学系学会協議会とは連携をとっていく方針であるので、情報提供として配布したとの説明がなされた。

5. 協 議

(1) 理事の業務分担について

井上総務理事より、報告事項で挙げられた日本歯科麻酔学会指名理事の交替に伴い、本会役員の業務分担の変更について諮られ、一戸達也理事（新任）が専門医問題担当理事となることが承認された。

(2) 顕彰審議会への諮問について

松村副会長より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案

どおり諮問することを決定した。

(3) 専門・認定分科会資格審査委員会への諮問について

松村副会長より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおり諮問することを決定した。

(4) 平成 26 年度学術講演会の企画（案）について

森戸常任理事より、標記学術講演会の企画について、資料に基づき詳細な報告がなされた。引き続き、同講演会の企画意図、講演主旨および開催県の負担等について意見交換が行なわれ、原案の一部再考が求められた。また、推薦講師 6 名については、承認された。

(5) 日本歯科医師会会員への周知を希望する学会承認医制度に係るアンケート結果の取り扱いについて

井上総務理事より、本件の経緯について説明がなされた。前回の常任理事会で、全ての専門・認定分科会に対し、日歯への周知を希望する「認定医、専門医などの各種資格制度以外の生涯研修としての資格」についてアンケート調査を実施することが決議された。そのアンケートの結果、3つの専門分科会、2つの認定分科会、計5つの分科会から日本歯科医師会会員への周知を希望する資格についての回答を得た。

主な質疑応答は以下の通りである。

中島常任理事より、日歯の立場からとして、既存の学会の認定医、専門医の資格内容と今回のアンケート結果の資格の違いが明確でないが、手挙げ方式で、全ての分科会から回答を得たわけではないとの説明をした上で、日本歯科医師会会員へ周知することを検討することは可能である。

森戸常任理事より、認定医と専門医を省いたことにより混乱が生じており、各分科会に今回のアンケートの意図が十分に伝わっていなかったのではないかと。

渡辺常任理事より、まず認定医、専門医を調査してから、別の資格を調査すればよいのではないかと提案があった。

永田常任理事より、何を目的で何をやるのかということが明確でない。各学会が導入しているいろいろな制度について、もう一度アンケートを取

り直したほうがよいのではないか。

住友会長より、今回のアンケートは取り下げ、専門医、認定医を含めて全部の資格制度について、本学会が42分科会を対象に調査を実施し、その結果を日本歯科医師会に提出したいとの発言があった。

協議の結果、資格制度の一覧（第3回常任理事会資料P.99）の修正、追加、HPのURLを記載するという程度で、不足を補うような形で一覧を作成するという事で、井上総務理事預かりで整理を進めることとなった。

(6) 「口腔内で使用される新型無煙タバコ製品の対策強化の要望」への本学会名称の記載について

井上総務理事より、日本口腔衛生学会から提出された要望書について諮られ、協議の結果、指摘された部分を修正した上で、改めて同学会（神原常任理事）へ提出を求めることとなった。

(7) 「世界会議2015」の日本歯科医師会との共催について

住友会長より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、平成27年3月に開催される標記会議の日本歯科医師会との共催を決定した。

森戸常任理事より、同年6月に日本老年医学会学術大会が開催されるため、是非、準備段階から何らかの形で関与したいとの発言があった。

(8) 役員派遣について

井上総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおりの派遣が承認された。

(9) その他

平成26年度日本歯科医学会事業計画およびそれに伴う平成26年度学会予算については、会長一任で了承された。

5. 閉 会

今井副会長より、閉会の辞。